

Shake Hands 常滑国際交流協会 第129号 2021年11月30日発行

〒479-0837 常滑市新開町 5-58 常滑商工会議所内 電話・FAX：0569-34-4797

メール：tia@japan-net.ne.jp URL：<https://www.japan-net.ne.jp/~tia/>



2021年度第3期英会話講習のお知らせ

常滑国際交流協会では、私達に一番身近な外国語である英語を使って国際交流を行うことを目指して「英会話講習」を実施しています。下記により2021年度第3期の受講者を募集します。

記

第1期日程：毎回水曜日、(全10回)

2022年1月12日、1月19日、1月26日、2月2日、2月9日、
2月16日、3月2日、3月9日、3月16日、3月23

日

時間：午前10時～12時

場所：とこなめ陶の森資料館講座室

講師：(H. E. ART 英会話) Jason Ford 氏 他

募集人員：24名(定員になり次第締め切ります。)

参加費：10,000円(常滑国際交流協会の会員は8,000円)

テキスト：第3期から受講の場合は別にテキスト代が必要です。

*常滑国際交流協会の個人会員の年会費は2,000円です。

*まだご入会いただいていない方はぜひこの機会にご入会下さいますようお願い申し上げます。

〒479-0837 常滑市新開町 5-58 常滑商工会議所内 **常滑国際交流協会**

(事務局の開設は火・水・木曜日の午後1時～4時です。)

電話・FAX 0569-34-4797 メールアドレス tia@japan-net.ne.jp

申込みは上記メールアドレスへ氏名・住所・電話番号・メールアドレスをご連絡下さい。

デジタル社会の怖さ

コロナの感染者が減少して来て、恐れられていた第6波のコロナ感染拡大が避けられそうな感じがして来たけれど、その途端南アフリカ発のオミクロン株のコロナウイルスの感染が世界に広がっていると伝えられ、世界中に新たな恐怖が広がっています。コロナ禍はまだまだ続くのでしょうか。このコロナウイルスの変異株発生のニュースが伝えられた翌日には株価や為替レート、原油の相場まで大きく影響が及んでいます。コロナパンデミックは既に2年間にわたり繰り返し私たちの日常生活を脅かしています。

人々がグローバルに盛んに行き来する時代になりインターネットで世界が緊密につながり、コロナパンデミックが始まってからはオンライン会議、テレワーク、リモート授業などが広がって、政府が長年唱えてもなかなか進まなかった「働き方改革」が急に進んでいるようです。このような変化はコロナ禍が終わっても後戻りすることは無いのでしょうか。

政府は教育・医療、街を5Gで結び「スーパーシティ」「キャッシュレス決済」「オンライン教育」等々で、デジタル技術の活用で貧富の格差や少子高齢化、地方の過疎化までの問題や課題を解決しようとしあらゆる省庁に権限が及び「デジタル庁」を創設しました。しかし、このような政策は、ことの本质が理解できず危機意識の低い政府によってうまく進められるのでしょうか。よく分からないのは私達も全く同じです。パソコンにはもうかなり前から、毎日膨大な詐欺メールが届きうっかりするとパソコン自体も機能しなくなってしまう。これは個人よりも、企業の技術情報、自衛隊や防衛省へのサイバー攻撃リスク、年金や医療、銀行の口座、顔認証やそれによる行動記録情報、買物の購買記録などあらゆる情報がまる裸の状態にあります。

テレビをつけるとコメンテーターの芸能人や大学教授が韓国や中国を例に挙げて「いまやキャッシュレスは海外では常識ですよ。日本はデジタル後進国。ガラパゴスをいつまで続けるのでしょうかねー。」などと言っています。本当にそうでしょうか。

ますますデジタル化が進む世界の中では個人情報こそ宝の山です。いつ、どこで、何を、いくらで買ったか。何月何日の何時何分に、どこからどこへ移動したか。どこに住んでいて、どんな家族構成か？職業や勤務先の詳細。食費には平均いくら使うのか、どんな味を好むのか？どの新聞を読み、どんな本を読み、服用している薬は？所得はどれほどか。金融資産がどれくらいあるか、利用している金融機関はどこか、子供の交友関係、本人の思想心情などありとあらゆる個人情報が国によって吸い上げられる。デジタル先進国だとその国民が思っている中国の政府は、このような個人情報を握り国民の全てを監視して厳しく統制し、結果としてコロナパンデミックもいち早く抑え込んだのです。

常滑市は「スーパーシティ」の指定に手を挙げていますが、その実体は市民にはよく理解できません。企業が自由にビジネスを展開できる「国家戦略特区」が「スーパーシティ」です。 (市原 昌)

今年もハロウィーン(halloween)の季節が終わりました。例年、バカ騒ぎが伴った日本のこの行事ですが、昨年からのコロナ禍による若干の自粛から、今年の東京渋谷の騒動は・・・。

さて、日本でも定着したこのお祭り。メキシコでも盛んなところから、てっきりキリスト教起源かと思いきや、古代スコットランド（アイルランド）在住のケルト人の行事で、秋から冬に至る区切りと、死者の霊が家族のもとを訪れること（日本のお盆?）から、有害な精霊や魔女から身を守るために、当時は魔よけの焚火を炊いていたことが始まりのようです。

このことにちなみ、カボチャのランタン（Jack-o-lantern）にロウソクを灯し、子どもたちが仮装をして trick or treat と唱えながら各家庭を訪問するというのが、昨今のハロウィン行事のあらましでしょうか。ただ、アメリカ大陸発見以前には、カボチャの栽培はなかったはずなので、それまではカブが用いられたようです。

数年前のディズニー映画でメキシコを舞台とした Remember me が封切られました。これは、メキシコの祭日「死者の日」などを中心としたメキシコ文化を知ることのできる映画です。死者の日は 11月1・2日なので、ハロウィーン（10月31日）から3日連続の催事となります。映画をご覧になった方はご存じでしょうが、メキシコでは各所で骸骨が登場します。特にこの3日間の催事には町中にドクロや骸骨が溢れます。子どもも大人も骸骨Tシャツを着たり、フェイスペイントをしたりします。アメリカでは、ハロウィーン行事がお祭り要素たっぷりに定着したようですが、メキシコでは死者の日とコラボして、「先祖を敬いましょう」「死んだら人間みな平等」「骸骨には貧富の差は無い」をうたっているようです。この時期、メキシコではマリーゴールドが咲き乱れます（ほぼ年中くらい咲いています）。日本の菊に該当するのが、この花のようです。死者の日の前後は、お墓も祭壇もそして街中もマリーゴールドのオレンジ色で埋め尽くされています。

さて、雑学をひとつ。日本ではニワトリの卵を使った目玉焼き、黄身の色はたいてい黄色ですよ。メキシコではちょっと違うのです。あのマリーゴールドのオレンジ色です。日本のニワトリは配合飼料で育てられますが、メキシコではあの花を中心とした飼料が主な餌になっているようです。



メキシコの中学生たちの仮装



映画の舞台のひとつ Guanajuato



陽気な骸骨



オレンジ色があふれます



こんな着飾り方も



美人な骸骨?

2017年 Mexico にて。

2016年4月~2018年3月 Aguascalientes, Mexico 滞在

コロナ禍の中の国際交流活動（TSIE 報告） TSIE 会長 福田泰造

TSIE が児童の海外派遣受入を中止してあっという間に 2 年が経過しました。この間、役員会の開催も途絶え創立以来 26 年間に亘りサポートして頂いた皆様にご心配を頂き今後の事業について多くの問い合わせを頂いております。常滑国際交流協会の「シェイクハンズ」の紙面をお借りしてこれからの TSIE 活動について報告させていただきます。

先ず現在の市内各小学校の TSIE 事業委員会について報告します。結論から言いますと一部（小規模小学校では委員会の存続が出来ない状況）を除いてこれまで同様の活動を続けています。こうした状況の中、JICA バングラデシュ事務所に勤務の山本恭平君から VTR を使った交流相手国とのリモート交流の提案があり併せて撮影編集もサポートして頂き児童の学校生活や常滑紹介といった素晴らしい VTR が完成しました。山本君は 1999 年の TSIE 常滑西小オーストラリア派遣団の一員でその海外生活の体験から現在は JICA バングラデシュ事務所に勤務しており新型コロナの影響で昨年 6 月～今年 2 月まで常滑に帰り本人の希望から TSIE のサポートをお願いしました。リモート交流は今後も続けたいと思います。



VTR 完成報告 左：伊藤辰矢市長 右：山本恭平氏



伊藤市長との懇談 TSIE 平岡守副会長 山本恭平君 福田

次は ISSE（本部はアメリカ）事業のこれからについての報告です。TSIE の国際交流事業は創立以来 26 年間、ISSE のプログラムを使って実施してきました。その ISSE の Bev Campbell 会長から 10 月初旬今後の ISSE 事業の参加についての質問メールが届きました。以下に質問と TSIE の回答を紹介します。

Q1 (ISSE) パンデミック、経済的な理由で相手校が限られるとか児童、親、事務局の関心がないとかの事情により学校を通しての個々の交流は可能でしょうか？

A1 (TSIE) 各小学校の委員会はコロナ禍の影響で回数は減りましたが活動しています。今年の 2 月には VTR を活用して相手校とのリモート交流も実施しました。各校の事業委員会の関心はコロナ禍前よりも活発になっています。教育委員会や学校の許可が出れば交流は可能です。

Q2 (ISSE) 他国への児童派遣受入はあなた方や委員会にとって心地よいものでしょうか？

A2 (TSIE) 交流相手国に特定の国はありません。只、旅費等の関係でマッチング時にエリア分け（オーストラリアを含むアジア圏）をお願いします。

Q3 (ISSE) 政府は貴校が ISSE や交流プログラムに関わることを許可してくれますか？

A3 (TSIE) もちろん許可してくれます。9 月の常滑ライオンズクラブの例会にゲストとして招かれましたが伊藤市長と隣り合わせの席でした。その席でコロナ禍終了後の TSIE への支援協力を約束しました。

Q4 (ISSE) 児童、親、事務局のサポートレベルはどのくらいでしょうか？

A4 (TSIE) コロナ禍前（2 年前）と変わりません。以上が ISSE との質疑応答です。TSIE の各校の事業委員会の国際交流に対する考え方はコロナ禍前と変わりません。今後も常滑国際交流協会のご理解ご協力を宜しくお願い致します。



ISSE Bev Campbell 会長と私（福田）